

令和7年度 奈良県幼・小・中・義務教育学校
教育課程研究集会
保育



幼稚園教育要領の趣旨を踏まえた 指導の在り方について

奈良県教育委員会事務局
義務教育課
義務教育指導係
指導主事 山本昌智子

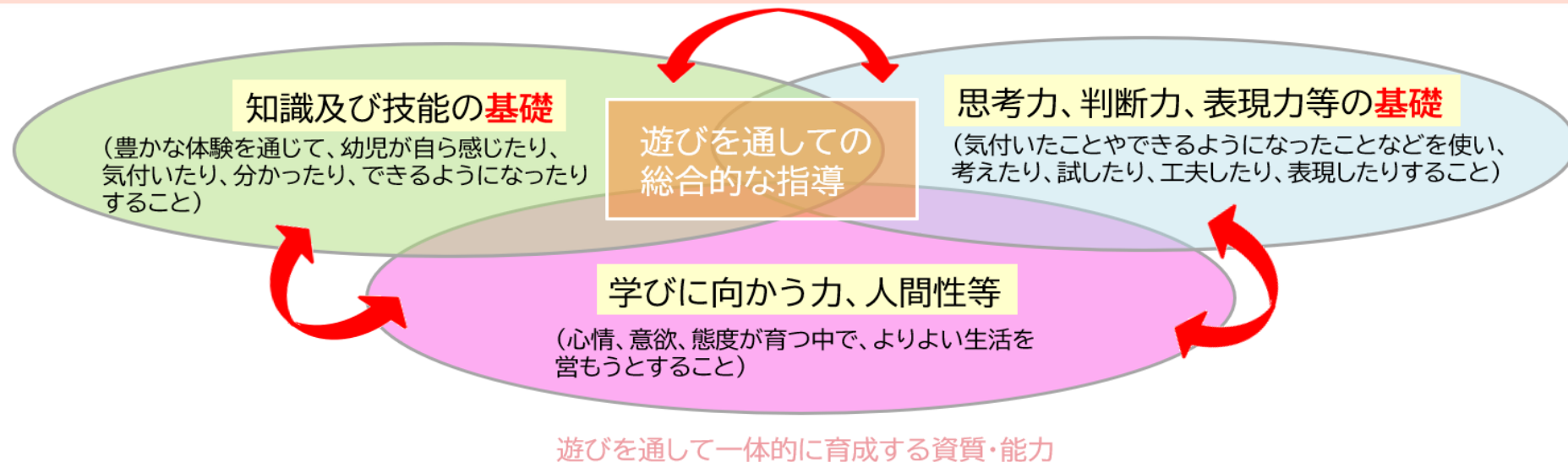
幼稚園教育要領における資質・能力の育成

幼稚園教育要領（抄）

第1章 総則

第1 幼児期の教育は、**生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの**であり、幼稚園教育は、学校教育法に規定する目的及び目標を達成するため、**幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする**。

- ・幼児期は、幼児自身が自発的・能動的に環境と関わりながら、生活の中で状況と関連付けて生活に必要な能力や態度などを身に付けていく時期。
- ・幼児教育では、幼稚園教諭等がその専門性を発揮して、意図的・計画的に環境を構成し、幼児が主体性を十分に発揮しながらその環境に関わる中で遊びや生活を展開することにより、幼児の発達を促すという「環境を通して行う教育」が基本。
- ・幼児は、教育的な意図をもって計画的に構成された環境の下、好奇心や探究心をもって遊びを展開する中で、様々な能力や態度を身に付けていく。
- ・幼児期においては、**遊びを通しての指導**を中心に行うことが重要。



「環境を通して行う教育」

環境の中に教育的価値を含ませながら、幼児が自ら興味や関心をもって環境に取り組み、試行錯誤を経て環境へのふさわしい関わり方を身に付けていくことを意図した教育

幼児の主体性と教師の意図

「幼児の主体性」と「教師の意図」とを
バランスよく絡ませていく

- 教師主導の一方的な保育の展開ではなく、
一人一人の幼児が教師の援助の下で
主体性を発揮して活動できるような
幼児の立場に立った保育の展開

活動の主体は幼児、
教師は活動が生まれやすく展開しやすいように意図をもって環境を構成

発達に必要な体験

教師は、発達の道筋を見通して、教育的に価値のある環境を計画的に構成する。



遊びの計画と教材などの準備

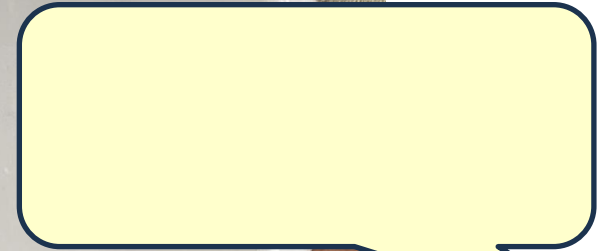
教師は、幼児が遊びから学んでいくにはどうしたらよいか話し合って遊びの計画（指導計画）を作成します。また、遊びを通した学びは人やものなど周りの環境が大切なので、教師は、幼児が遊びから何を学ぶかを予想し、思わずかかわりたくなるように準備していきます。

遊びの中での教師のかかわり

教師は一人一人の幼児を理解し、一緒に遊びながら幼児の興味が広がったり深まったりしてさらに楽しめるようにします。教師がすぐに手助けすると自分で工夫したり、友達と助け合ったりする機会が少なくなることもあるため、教師はすべてを手伝うのか、ヒントを与えるのか、自分たちで解決できるまで見守るのかなどを考えてかかわります。



ダンゴムシさん、
何食べるかなあ？



環境を構成するとは

●状況をつくること

遊具や用具、素材などの物的環境、友達や教師などの人的環境、自然環境や社会事象、空間的条件や時間的な条件など、様々な環境条件を相互に関連させながら幼児が主体的に活動を行い、発達に必要な経験を積んでいくことができるような状況をつくり出す。

●幼児の活動に沿って環境を構成すること

幼児の視点に立って環境を構成する。

幼児の活動の流れに即して、幼児が実現したいことを捉え、幼児の思いやイメージを生かしながら環境を再構成する。